

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504797(P2005-504797A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-528517(P2003-528517)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 6 1 K 31/502 (2006.01)

A 6 1 K 31/7052 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 P 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 31/502

A 6 1 K 31/7052

A 6 1 K 47/36

A 6 1 P 27/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成17年8月3日(2005.8.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼周囲または結膜下投与のための、薬理学的に許容される生体適合性ポリマー中に包埋されている活性剤を含んでなる眼用デポー製剤であつて、該ポリマーがポリオールのポリラクチド-コ-グリコライドエステルであり、該ポリオールが少なくとも3つのヒドロキシル基を有し、分子量が20,000までである眼用デポー製剤。

【請求項2】

ポリマーが該ポリオールの40/60から60/40ポリラクチド-コ-グリコライドエステルである、請求項1に記載の製剤。

【請求項3】

該ポリオールがグルコースまたはマンニトールである、請求項1に記載の製剤。

【請求項4】

該製剤が、純粋な活性剤のマイクロパーティクルを含んでなる、請求項1に記載の製剤。

【請求項5】

マイクロパーティクルの外部表面が実質的に活性成分を含まない、請求項4に記載の製剤。

【請求項6】

活性剤が溶解または分散し、製剤が液体である、請求項1に記載の製剤。

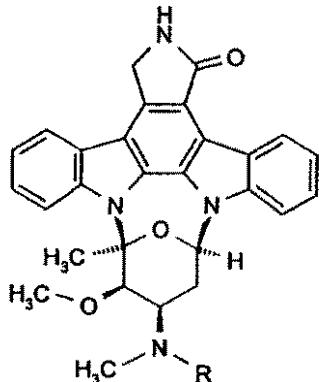
【請求項7】

製剤が、注射後に注射部位でデポーを形成する、請求項 6 の液体製剤。

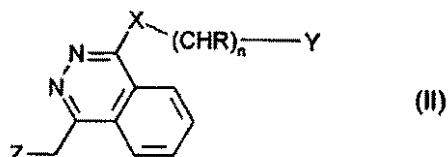
【請求項 8】

活性剤が式(I)のスタウロスボリン、式(II)のフタラジンまたは眼科的に許容されるそれらの塩であり、式(I)および(II)は以下に定義の通りである、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の製剤。

【化 1】



(I)



(II)

式中、

nは0~2であり、

RはHまたは低級アルキルであり；

Xはイミノ、オキサ、またはチアであり；

Yはアリールであり；そして

Zは非置換または置換ピリジル、

または1もしくはそれ以上のN原子が

酸素原子を担持する、定義の化合物の

N-オキシドである。

式中、
Rはベンゾイルである。

【請求項 9】

眼疾患の処置における使用のための、請求項 1 に記載の製剤。

【請求項 10】

該製剤が、有効量で長期間維持される活性剤を提供する、請求項 9 に記載の製剤。

【請求項 11】

活性剤が3ヶ月まで有効量にて維持される、請求項 10 に記載の製剤。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

適当なポリマーとしては、

- (a)ポリオール部分、例えばグルコースから放散する直鎖である、直鎖または分枝鎖ポリエステル、
- (b)D-、L-またはラセミのポリ乳酸、ポリグリコール酸、ポリヒドロキシ酪酸、ポリカプロラクトン、ポリアルキレンオキサレート、Krebsの回路、例えばクエン酸回路の酸のポリアルキレングリコールエステルなど、およびそれらの組合せ、
- (c)有機エーテル、無水物、アミド、およびオルトエステルのポリマー
- (d)有機エステル、エーテル、無水物、アミドおよびオルトエステルだけでのコポリマー、または他のモノマーと組み合わせたコポリマー
- (e)ポリビニルアルコール
が挙げられる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

脂質マイクロパーティクルに適した脂質封入剤としては、ホスファチジルコリン(P C)、ホスファチジルセリン(P S)、およびホスファチジルエタノールアミン(P E)のようなホスファチジル化合物、スフィンゴ脂質、セレブロシド、ガングリオシド、ステロイド、例えはコレステロールなどが挙げられる。